

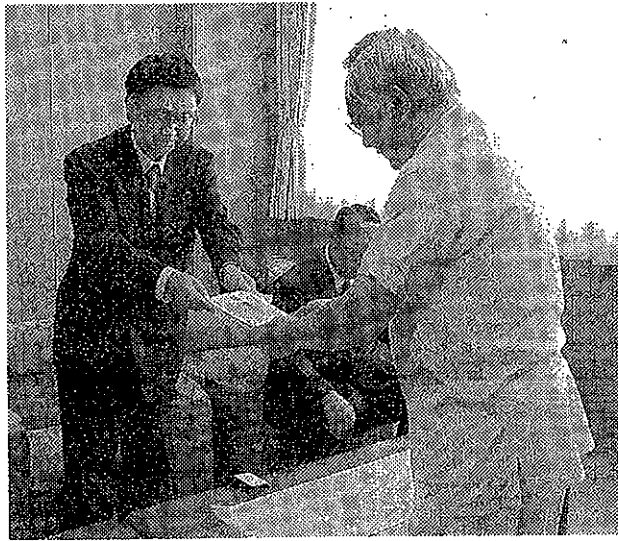
市立札幌病院に車いす10台を寄贈

昨年、中間法人格を取得した札幌空調衛生工事業協会

は、法人化を契機に社会貢献活動にも注力していること

27日、市立

田哲憲院長に目録を手渡し



(左)

池田会長

長に手渡す

書を吉田院

寄付申し出

書に吉田院

長に手渡す

池田会長

長に手渡す

書を吉田院

寄付申し出

書に吉田院

長に手渡す

池田会長

長に手渡す

書を吉田院

寄付申し出

書に吉田院

札幌空調衛生工事業協会

初めてで、協会名付きのシールを張り、日進医療器製「TY-1型」自走式車いす（折り畳み式）を贈呈。池田会長から寄付申し出書を受け取った吉田

院長は「病院には1800台の車いすがあるが、古くなり更新の時期を迎えている。大事に使わせてもらおう」と感謝した。

この取り組みは総務委員会が立案し、5日に開いた理事会で承認した。これまで行ってきた親ほくゴルフ大会を取りやめ、今後も社会貢献活動にシフトしていく。

同協会は昨年、任意団体から中間法人に衣替えしたが、新公益法人制度が12月1日に施行されるため同日付で一般社団法人へ移行する。そのためこれからも積極的に社会貢献活動を進めていく考えだ。

車いすは9月9日に納品され、入院・外来患者が利用する。